

テトラニプロール水和剤 ヨーバルシードFS	取扱メーカー： クミカ、バイエル、ホクサン 原体メーカー： バイエル
成分： テトラニプロール〔アントラニルジアミド系〕…40.3%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

- 種子処理により省力的に水稻初期害虫の防除が可能。
- 全ての種もみに直接処理するので効果にムラが出にくい。
- 農閑期の薬剤処理により作業の平準化が可能。
- 浸透性・移行性に優れ、長い残効性がある。
- 処理量が「種子重あたり」となるため、高密度は種でも安定した効果を発揮。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 浸種前に使用する際は、所定量の原液に専用の種子被覆剤を加用して種もみに均一に付着させる。

- 鉄コーティング時に塗沫処理する場合は、コンクリートミキサー又は回転式コーティング機を用いて種もみに処理する。鉄コーティングに使用する資材の量に応じて加水量を調整し、種もみを攪拌させながら均一に付着させる。

- 本剤で処理した種もみは食料や飼料として用いない。

【安全対策上の注意】

- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用残液・容器の洗浄水等は適切に処理する。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の総使用回数
稲	イネツトムシ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ	乾燥種もみ 1kg 当り原液 11 ml (原液 55 ml / 10 a まで)	は種前 (浸種前)	1 回	塗沫処理 (種子被覆剤を加用)	1 回
			は種前 (浸種後)		コーティング中 又はコーティン グ後の種もみに 塗沫処理	